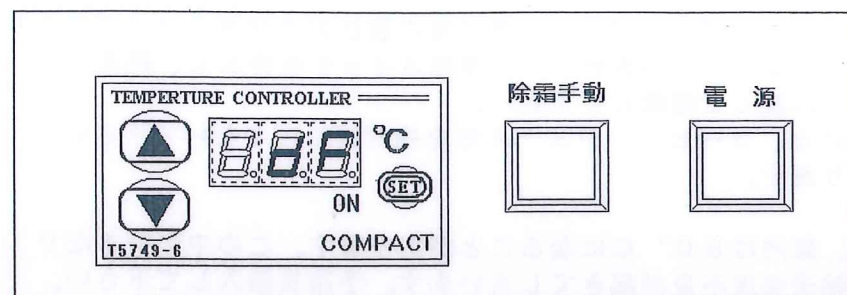


取扱説明書

運転のしかた

(1) 各スイッチの使い方



①電源スイッチ

冷凍ユニットを運転又は停止させるスイッチです。
電源スイッチを押下時、デジタル表示部は庫内温度を表示します。

②除霜手動・霜取り表示

冷凍ユニット運転中、霜取り運転を強制的に行うスイッチです。
手動霜取りは除霜手動スイッチを押下して下さい。除霜ランプが点灯します。
自動霜取り運転中はデジタル表示に **df** が点灯します。
自動霜取りは終了後に自動的に冷却運転に戻ります。
霜取りを中止したい時は電源スイッチを入れ直すと冷却運転に戻ります。

③温度設定

庫内設定温度を維持する操作です。
SET を押下し▲▼スイッチで庫内設定温度を設定し再度 **SET** を押下し完了。
高い温度----▲スイッチを設定温度まで押下します。
低い温度----▼スイッチを設定温度まで押下します。
低温仕様の場合---マイナス20°Cより下げないで下さい。故障の原因となります。

積荷のしかた

(1) 積荷前の準備

(a)庫内をきれいに清掃して下さい。
(b)車両側及び冷凍ユニットの点検を行って下さい。
(c)コントローラーで庫内温度を設定して下さい。
お願い・・・積荷前には必ず日陰で予冷運転を行い庫内を設定温度まで冷やして下さい。

(2) 積荷の要領

(a)冷風が庫内の隅々まで循環するように積荷を行って下さい。
(b)積荷の上面は平らになるようにして下さい。

お願い・・・積荷はあらかじめ他の冷却装置で、所定の温度まで冷却したものを冷凍車に積込んで下さい。
お願い・・・積荷は冷凍ユニットの運転を停止し、なるべく短時間に行って下さい。

(3) 荷下ろし

(a)1回のドアの開閉により瞬間的に庫内温度が上昇しますので、ドア開閉はすばやく行い少しでも冷気が逃げないようにして下さい。
(b)積荷時又は荷下ろし時の外気の侵入、冷気の流出を防ぐ為カーテン等を取付けるなどして工夫して下さい。

お願い・・・冷凍ユニットを停止してから荷下ろしして下さい。

(4) 運転中のご注意

- (a)デジタル表示部で庫内温度が設定温度を保っているか時々確認して下さい。
- (b)車を駐車し冷凍ユニットを運転する場合は、直射日光を避け通風の良い場所を選び、運転して下さい。
- (c)コントローラーのディスプレイ表示が、車両等の違法出力無線のノイズによりちらつく場合があります。この場合、一旦電源スイッチを停止し、再度電源スイッチを入れ直して確認して下さい。
- (d)コントローラーに水、コーヒー、ジュース等を絶対にこぼさないで下さい。故障の原因となります。

※注意事項

- ◇夏の炎天下では、庫内は60°Cになることがあります。この中にいきなり品物を入れれば輸送温度不良が起きてしまいます。予冷後搬入して下さい。
- ◇温度の高い物を積込んでから冷却すると、冷えない場合や冷凍ユニットが異常停止する場合がありますので絶対にしないで下さい。
- ◇コンデンサー部にはホコリが付着しますので時々、水洗いをして下さい。
- ◇外気が低すぎたり、コンテナ内温度が低くなっているなどの場合、電源を入れても温度表示はしますが、電源ランプが点灯しない場合があります。その時は霜取りのスイッチを5秒～10秒間押し続けて下さい。電源ランプが緑に点灯し正常に運転し始めます。
- ◇1日以上冷凍機を使用しない場合は冷凍機の始動時に、コンプレッサーからの衝撃音がする場合がありますが、異常ではありません。

※異常時の動作

- 温度が50°Cを超えた場合(オーバーレンジ)・・・FFF点灯
- センサーショート・・・FFF点滅
- センサー断線・・・---点滅

★コンプレッサーがエンジンの下側についてますので、縁石に乗り上げないように、また、凸凹道等を走行する場合注意して走行して下さい。

!警告

異常時は運転を停止して下さい。異常のまま運転を続けると感電、火災等の原因になります。

☆冷凍機コンプレッサー用ベルトは、下記間隔で、メンテナンス願います。
新車・又はベルト交換後 1,000Km でベルト調整
その後 5,000Km 毎に、ベルト調整
25,000Km ~ 30,000Km を、目安にベルト交換を推奨願います。

〒333-0844

埼玉県川口市上青木5-19-8 TEL 048-261-0961

株式会社 日章冷凍 FAX 048-261-4069

